



何がいるかな？ 私たちの川

8月1日(水)

身近な河川について調査する「水生生物調査」に、小学1～5年生の児童など17人が参加しました。子どもたちは、市内を流れる肥田川・妻木川それぞれの上流と下流に入り、タモで水中の生き物を捕まえたり、水温や流れの速さ、にごりの状態を確認したりして、水質浄化や環境保全の大切さを学びました。



県消防操法大会 下石分団が大健闘

8月5日(日)

羽島市で開催された同大会に、市を代表して下石分団が出場しました。団員の皆さんは、約9カ月間にわたる訓練の成果を披露し、大健闘を果たしました。

【選手の皆さん】▷指揮者=加藤貴久 ▷1番員=西尾将伸 ▷2番員=伊藤公一 ▷3番員=林秀和 ▷吸管補助員=伊藤嘉基



もしもの時も おいしく楽しく

8月18日(土)

泉公民館で備蓄食品と常備缶などを使った子ども料理教室があり、参加者は、パン粉の代わりにカンパンを砕いて作る「カンパンバーグ」や切干大根をコーン缶の漬け汁で戻して作るあえ物など6品を調理しました。児童の1人は「カンパンでハンバーグができてびっくりした。家でも作ってみる」と話していました。



ミナモの壁画 満開の花

8月20日(月)

いよいよ開幕する「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」を盛り上げようと、市内6つの児童館がカラフルな「花飾り」で壁画を作りました。西部児童センターでは、タテ2mヨコ3mもの巨大壁画に挑戦。児童館を利用する子どもやスタッフが、1つ1つ丁寧に花飾りを貼り付け、壁画を完成させました。



Voice

キーズ・ヘレン(左)「子どもたちは英語を、私は日本語を勉強し、お互いに教え合いたい」
ダーラム・ジル「子どもたちに会うのが楽しみ。一緒に頑張ろう」



新ALTが作陶に挑戦

8月15日(水)

8月から土岐市の外国語指導助手(ALT)に着任したヘレンさんとジルさんが、市の作陶施設「創陶園」で陶芸に挑戦しました。土岐市の文化を理解してもらおうと招待したもので、2人は園の職員の手ほどきを受けながらろくろを使い、初めてとは思えない手つきで皿やコップを完成させました。



競技の合間にカヌーに挑戦する子ども

市総体夏季大会 熱戦繰り広げる

8月19日(日)



第58回市民総合体育大会夏季大会の水泳競技・カヌー競技が市民プールで開催され、各町の代表選手が熱戦を繰り広げました。

【水泳競技】①泉町 ②駄知町 ③土岐津町 ④曾木町 ⑤肥田町 ⑥下石町 ⑦妻木町 ⑧鶴里町

【カヌー競技】①肥田町 ②泉町 ③妻木町 ④駄知町